

千代田区 中小企業の景況【概要版】

～令和6年10月～12月期～

【発行】千代田区地域振興部商工観光課
 【調査機関】一般社団法人 東京都信用金庫協会
 【分析委託業者】株式会社 東京商工リサーチ

[回答事業所数の業種別内訳]

	有効回答事業所数
製造業	31
卸売業	48
小売業	26
サービス業	38
建設業	29
不動産業	35
業種計	207

判断表 業種別定点指標値(マークの基準は業況判断D.I季節調整済修正値で判断)

	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸売業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不動産業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下

好調

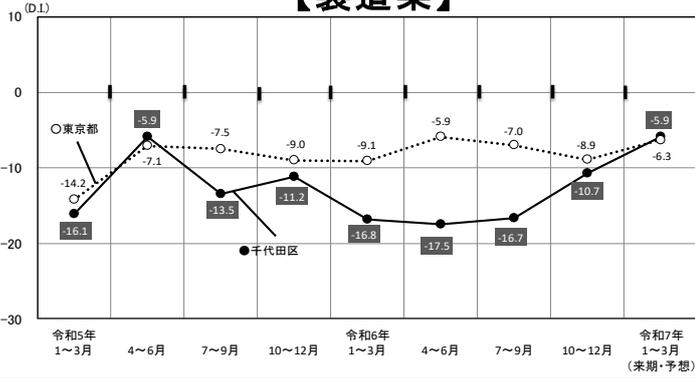
不調

※小数点第一位を四捨五入の上、上記判断表に基づき分類を行っている。

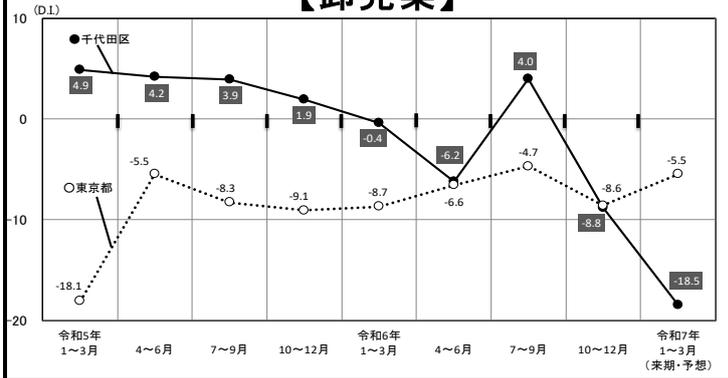
製造業	今期		E -10.7	業況は厳しさが大きく和らぎ、改善した。売上額は前期並となり、収益は増加から減少に転じ、悪化した。価格面では、販売価格は前期並となり、原材料価格は上昇がやや強まった。在庫は過剰感がやや強まった。 来期の見通しについて、業況は厳しさがやや和らぐと予想されている。売上額は今期同様で推移し、収益は減少が大きく強まる見通しである。
	来期		D -5.9	
卸売業	今期		D -8.8	業況は悪化に転じた。売上額は前期並となり、収益は増加に転じ、改善した。価格面では、販売価格は上昇がやや強まり、仕入価格は上昇が大きく弱まった。在庫は過剰感が大きく改善した。 来期の見通しについて、業況は低調感が大きく強まると予想されている。売上額、収益はともに増加から減少に転じる見通しである。
	来期		E -18.5	
小売業	今期		F -36.1	業況は低調感が大きく強まり、悪化した。売上額、収益はともに減少が大きく強まり、悪化した。価格面では、販売価格は上昇が大きく強まり、仕入価格は上昇がやや弱まった。在庫は不足感が大きく強まった。 来期の見通しについて、業況は厳しさが大きく和らぐと予想されている。売上額、収益はともに減少が大きく弱まる見通しである。
	来期		E -21.0	
サービス業	今期		C 1.7	業況は前期並となり、売上額、収益はともに増加に転じ、改善した。価格面では、料金価格は上昇がやや強まり、材料価格は上昇が大きく弱まった。 来期の見通しについて、業況は好調感が大きく強まると予想されている。売上額、収益はともに増加傾向を大きく強める見通しである。
	来期		B 8.9	
建設業	今期		A 23.6	業況は好調感が大きく後退し、悪化した。売上額は増加幅が極端に縮小し、収益は増加から減少に転じ、ともに悪化した。価格面では、請負価格は上昇が大きく弱まり、材料価格は上昇がやや弱まった。在庫は前期並となった。 来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額は増加幅が大きく拡大し、収益は増加に転じる見通しである。
	来期		A 23.2	
不動産業	今期		A 13.5	業況は好調感がやや後退し、悪化した。売上額は増加から減少に転じ、収益は増加傾向が極端に弱まり、ともに悪化した。価格面では、販売価格は上昇が極端に弱まり、仕入価格は上昇が大きく弱まった。在庫は過剰に転じた。 来期の見通しについて、業況は好調感がやや後退すると予想されている。売上額は増加に転じ、収益は今期同様で推移する見通しである。
	来期		B 8.3	

千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測

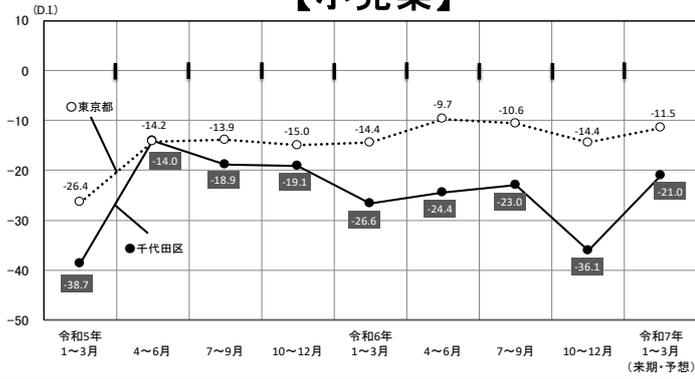
【製造業】



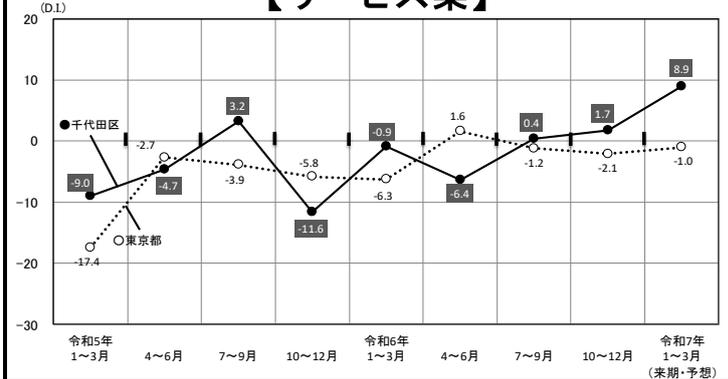
【卸売業】



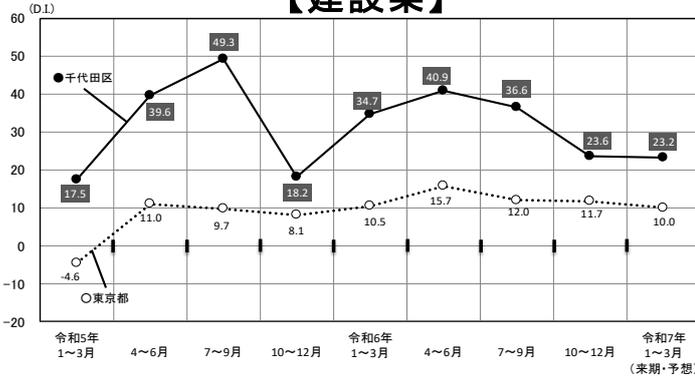
【小売業】



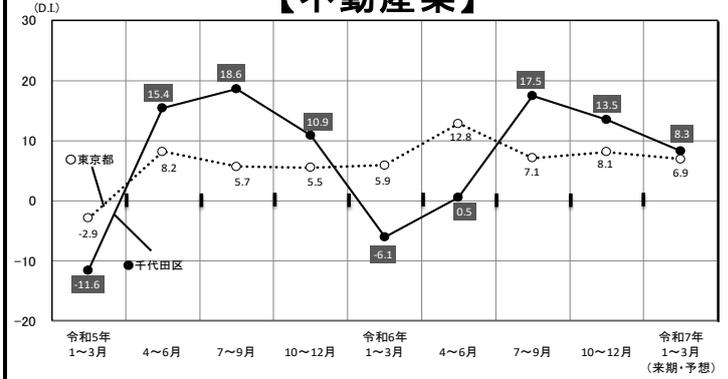
【サービス業】



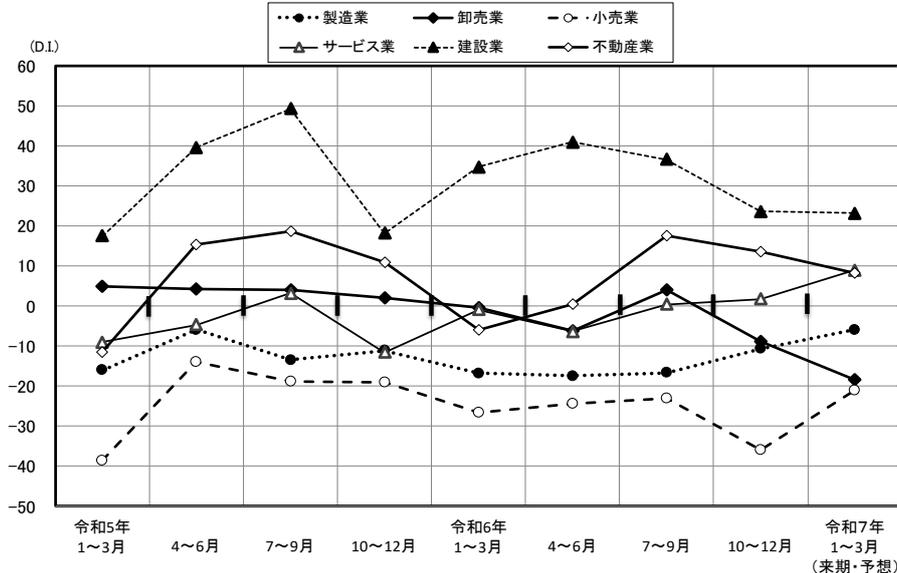
【建設業】



【不動産業】



【千代田区全業種】



千代田区 業種別 経営上の問題点

製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
売上の停滞・減少	38.7 %	売上の停滞・減少	52.1 %	売上の停滞・減少	42.3 %	人手不足	34.2 %	材料価格の上昇	37.9 %	商品物件の高騰	34.3 %
原材料高	22.6 %	同業者間の競争の激化	25.0 %	大型店との競争の激化	19.2 %	人件費の増加	28.9 %	人手不足		同業者間の競争の激化	31.4 %
同業者間の競争の激化	12.9 %	利幅の縮小	18.8 %	同業者間の競争の激化		売上の停滞・減少	23.7 %	人件費の増加	24.1 %	売上の停滞・減少	20.0 %
仕入先からの値上げ要請	9.7 %	輸入品との競争の激化	16.7 %	仕入先からの値上げ要請	11.5 %	同業者間の競争の激化	15.8 %	下請の確保難	20.7 %	大手企業との競争の激化	17.1 %
利幅の縮小		為替レートの変動	14.6 %	販売商品の不足		材料価格の上昇	10.5 %	利幅の縮小		商品物件の不足	14.3 %
		人手不足								利幅の縮小	

千代田区 業種別 重点経営施策

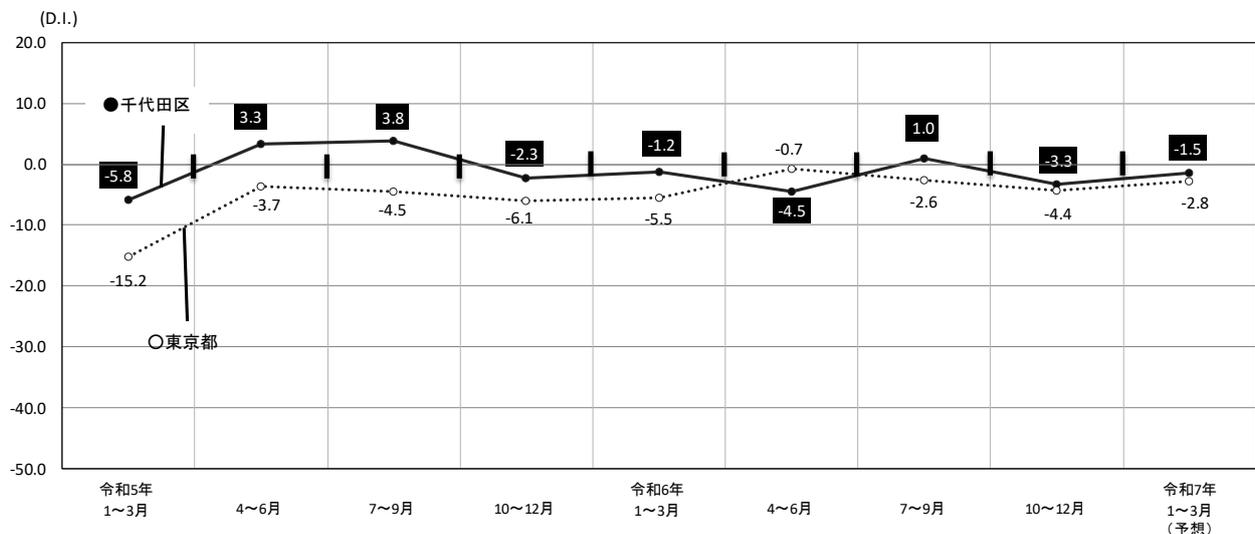
製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
販路を広げる	51.6 %	販路を広げる	62.5 %	経費を節減する	34.6 %	人材を確保する	50.0 %	人材を確保する	44.8 %	販路を広げる	51.4 %
経費を節減する	41.9 %	経費を節減する	35.4 %	品揃えを改善する	26.9 %	販路を広げる	47.4 %	販路を広げる		情報力を強化する	37.1 %
情報力を強化する	16.1 %	提携先を見つける	22.9 %	売れ筋商品を取り扱う	23.1 %	経費を節減する	26.3 %	経費を節減する	31.0 %	経費を節減する	28.6 %
新製品・技術を開発する	9.7 %	人材を確保する	20.8 %	宣伝・広告を強化する		技術力を強化する	13.2 %	労働条件を改善する	20.7 %	人材を確保する	11.4 %
不動産の有効活用を図る	6.5 %	情報力を強化する	18.8 %	教育訓練を強化する	7.7 %	提携先を見つける	7.9 %	技術力を高める	13.8 %	宣伝・広告を強化する	
不採算部門を整理・縮小する				営業時間を延長する				情報力を強化する			
人材を確保する				人材を確保する							

千代田区と東京都の業況の動き

千代田区の今期の業況判断 D.I. (季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合) は-3.3 と前期 (令和 6 年 7～9 月) の 1.0 に比べ 4.3 ポイント減少し、悪化に転じた。

東京都の業況と比較すると、今期は千代田区が東京都を 1.1 ポイント上回った。業種別で比較すると、建設業 (11.9 ポイント) で、千代田区が東京都を 10 ポイント以上上回った。一方、小売業 (21.7 ポイント) で、千代田区が東京都を 10 ポイント以上下回った。

千代田区の来期 (令和 7 年 1～3 月) の業況見通しは-1.5 と、今期よりも 1.8 ポイント増加し、今期並で推移すると予想されている。東京都の来期の業況見通しは-2.8 であり、比較すると千代田区が 1.3 ポイント上回り、差は今期同様となる見込みである。



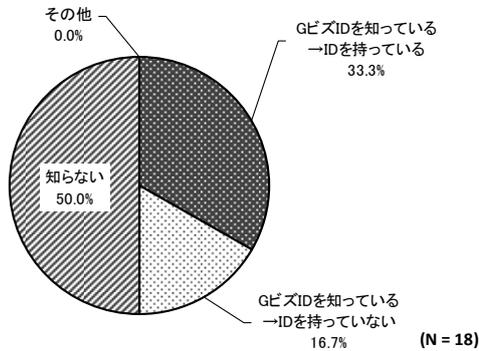
千代田区独自調査「G ビズ ID の活用状況について」

東京商工会議所千代田支部において、千代田区内の企業に対し「G ビズ ID の活用状況」に関するアンケートを実施し、18 社より回答を得た。各設問の調査結果は以下の通り。

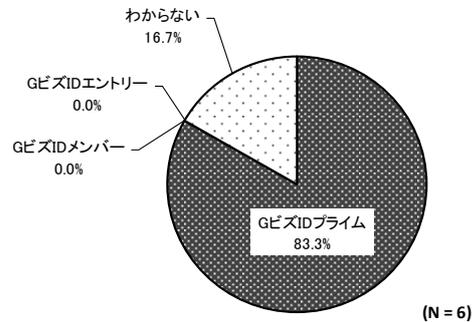
概要

- ①「G ビズ ID」の認知・利用状況（図表 1）：
「知らない」50.0%、「G ビズ ID を知っている→ID を持っている」33.3%、
「G ビズ ID を知っている→ID を持っていない」16.7%
- ②お持ちの「G ビズ ID」の種別（図表 2）：
「G ビズ ID プライム」83.3%、「わからない」16.7%
- ③お持ちの「G ビズ ID」で利用しているサービス：
 - ・ 補助金申請システム jGrants の利用時
 - ・ 補助金の申請時
 - ・ 助成金の申請時
 - ・ 労働保険、年金関係、補助金等の申請時
 - ・ IT 補助金、事業再構築補助金の申請時
- ④「G ビズ ID」を取得しない理由（図表 3）：
「G ビズ ID の取得が要件となる案件の申請等をする機会がなかったから」100.0%

図表 1 「G ビズ ID」の認知・利用状況



図表 2 お持ちの「G ビズ ID」の種別



図表 3 「G ビズ ID」を取得しない理由

